

2024年5月15日

課題名： 頭頸部癌の放射線治療における  
舌固定トンネル付きマウスピースの舌位置固定性能評価

◆研究の目的と概要◆

頭頸部癌の放射線治療、とくに強度変調放射線治療においては、からだの固定精度をあげるために、マウスピースの作成・使用が行われています。当院では2022年7月より、舌癌など、舌の固定精度が求められる症例において、咬合部と舌面プレートを一体としたマウスピース(舌固定トンネル付きマウスピース)の作成・使用を行っています。本研究では放射線治療の治療計画画像・位置照合画像を用いて、舌の位置固定の精度を数値化し、この舌固定トンネル付きマウスピースの有用性・改良の余地などを検討することで、より良い放射線治療を提供することを目指します。

◆対象となる患者さん◆

2019年5月から2024年5月までの期間に当院で頭頸部癌に対する放射線治療を受けた患者さんのうち、マウスピースの作成・使用を行った患者さん

◆研究に使用される情報・試料◆

患者基本データ(年齢、性別、performance status、がん種、臨床病期、病理組織、現病歴、既往歴、処方薬、生活歴)、放射線治療データ(放射線治療計画データ、照合画像データ、処方線量、線量分割、照射録)、治療内容、有害事象、転帰。

◆情報の研究利用開始日◆

2024年5月28日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の放射線治療データ・診療録(カルテ)等から情報を抽出します。

- 
- \* 研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

放射線治療科 研究責任者 藤井 康太

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明